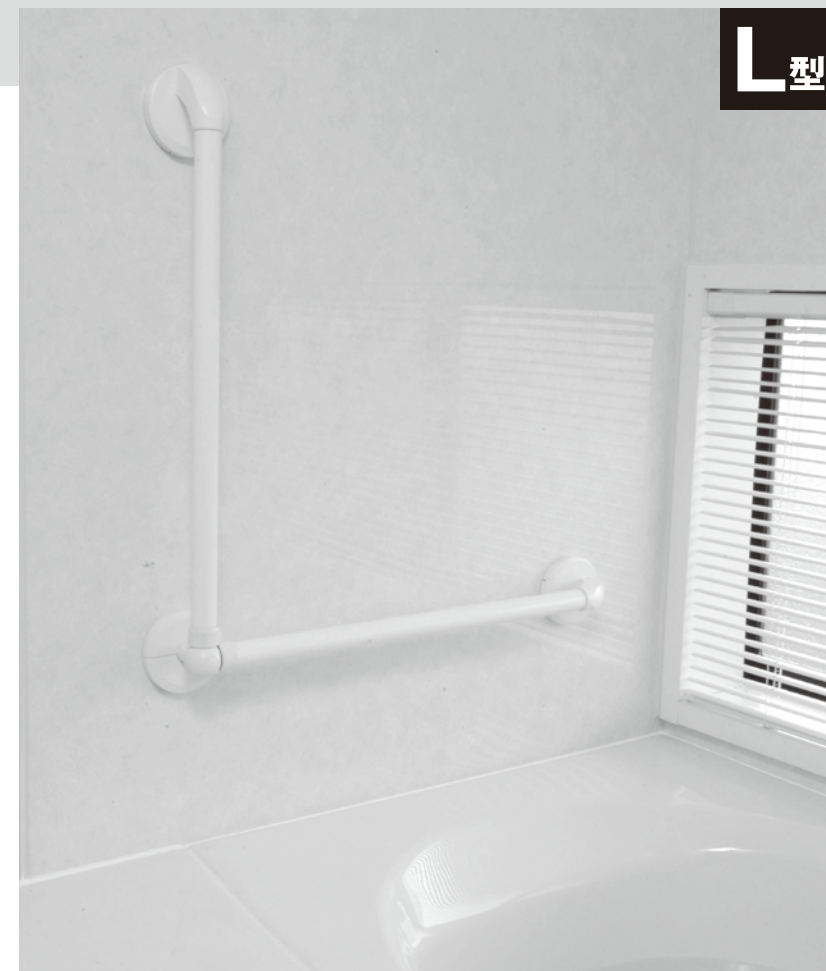


浴室用後付け手すり

パームハンドNext



取扱説明書

施工者の方へ

取付後、この取扱説明書を
ユーザー様へお渡しください。

目次

1	安全上のご注意	1
2	セット内容の確認	2
3	パームハンドNextの特長	2
4	製品概要	3・4
	1.各部名称	3
	2.寸法	3
	3.各部の材質・仕様	4
5	施工要領	5~14
	1.取付準備	5
	2.取付方法（I型）	6~8
	3.取付方法（L型）	9~12
	4.グリップ位置を調整する場合	13
	5.長さ調整する場合	14

sjc 積水樹脂株式会社

本社：〒530-0047 大阪市北区西天満2丁目4番4号（堂島関電ビル6階）
東京本社：〒105-0022 東京都港区海岸1丁目11番1号（ニューピア竹芝ノースタワー12階）
支店：関東・近畿・北陸
Sekisuijushi Home Page <http://www.sekisuijushi.co.jp/>

営業所	TEL	FAX
関東支店／住建材営業所	03(5400)1831	03(5400)1839
近畿・北陸支店／住建材営業所	06(6442)2405	06(6344)3580

1 安全上のご注意

ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
ここに指示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡したりまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害が想定される内容を示しています。

施工業者の方へ

安全に取り付けていただくためには、
以下のことをお守りください。

-  **警告**
- 本製品は浴室用です。屋外など、他の場所で使用しないでください。
 - 取付対象外の壁面、十分な強度が保たれていない壁面には取り付けしないでください。(5ページ参照) 手すりが外れ転倒やケガをするおそれがあります。

-  **注意**
- 施工前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。
 - 施工の際、本製品に傷がつかないように注意してください。
 - 本製品を改造しないでください。
 - 施工後にビスなどの緩み、ガタツキなどがないか十分に確認してください。
 - 施工完了後は、この「取扱説明書」を必ずお客様にお渡しください。
 - 浴槽など水につかる場合への取り付けはお避けください。水漏れの原因となります。
 - 附属のビス、アンカーは指定数量を正しくお使いください。十分な強度が得られず、手すりが外れ、転倒やケガをするおそれがあります。

ユーザー様へ

安全に使用使用していただくために、
以下のことをお守りください。

-  **警告**
- 本製品は浴室内の動作を補助する手すりとして設計されています。他の目的や用途には使用しないでください。
 - 上に乗ったりぶら下がったりしないでください。破損またはケガをするおそれがあります。

-  **注意**
- 使用前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。
 - 本体にビスの緩みやガタツキがないか時々点検してください。万一、ガタツキが生じたときは、ブラケットカバーをはずし、ビスを締め直してください。それでも治らないときは施工業者の方に相談ください。
 - この取扱説明書は大切に保管し、必要なときに参照してください。

お手入れについて

- 清掃はやわらかい布で汚れをふきとってください。汚れのひどい場合は布に薄めた中性洗剤を染み込ませたもので拭き、その後水拭きしてください。
- 酸性、アルカリ性洗剤、磨き粉を含んだ洗剤、ナイロンタワシなどは使用しないでください。傷がつき、汚れが落ちにくくなるおそれがあります。
- シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

2 セット内容の確認

セット内容について不足がないか確認してください。

		PMHN-600L ^I _{SG} (600 I型タイプ)	PMHN-800L ^I _{SG} (800 I型タイプ)	PMHN-600L ^I _{SG} (600L型タイプ)	PMHN-800L ^I _{SG} (800L型タイプ)	PMHN-BKST ^I _{SG} (ブラケットセット)
I型・L型共通部材	手すり本体	1	1	2	2	
	ブラケットベース	2	2	2	2	1
	ブラケットカバー	2	2	2	2	1
	インサートナット	2	2	2	2	1
	インサートボルト(ナベ小ネジ M8×40)	2	2	2	2	1
	スプリングワッシャー(M8用)	2	2	2	2	1
	組立ビス(皿タッピング M4×25)※3	4	4	8	8	2
	取付ビス類※1	2	2	2	2	1
L型部材	ジョイントベース(L型ブラケットベース)			1	1	
	ジョイント			2	2	
	ジョイントボール			1	1	
	L型用インサートナット			4	4	
	ジョイントベースカバー			2	2	
	ボルトカバー			1	1	
	ナベ小ネジ(M6×65)			1	1	
	スプリングワッシャー(M6用)			1	1	
	ナベタッピング(M3.5×10)※3			6	6	
	皿タッピング(M4×12)※3			4	4	
	L型取付ビス類※2			1	1	
	取扱説明書	1	1	1	1	

※1 1セットに対して、トラスタッピング(φ6×40)×3本、エビモンゴブラグMP840B×3本が入っております。
※2 1セットに対して、トラスタッピング(φ6×40)×4本、エビモンゴブラグMP840B×4本が入っております。
※3 製品組立に使用されています。

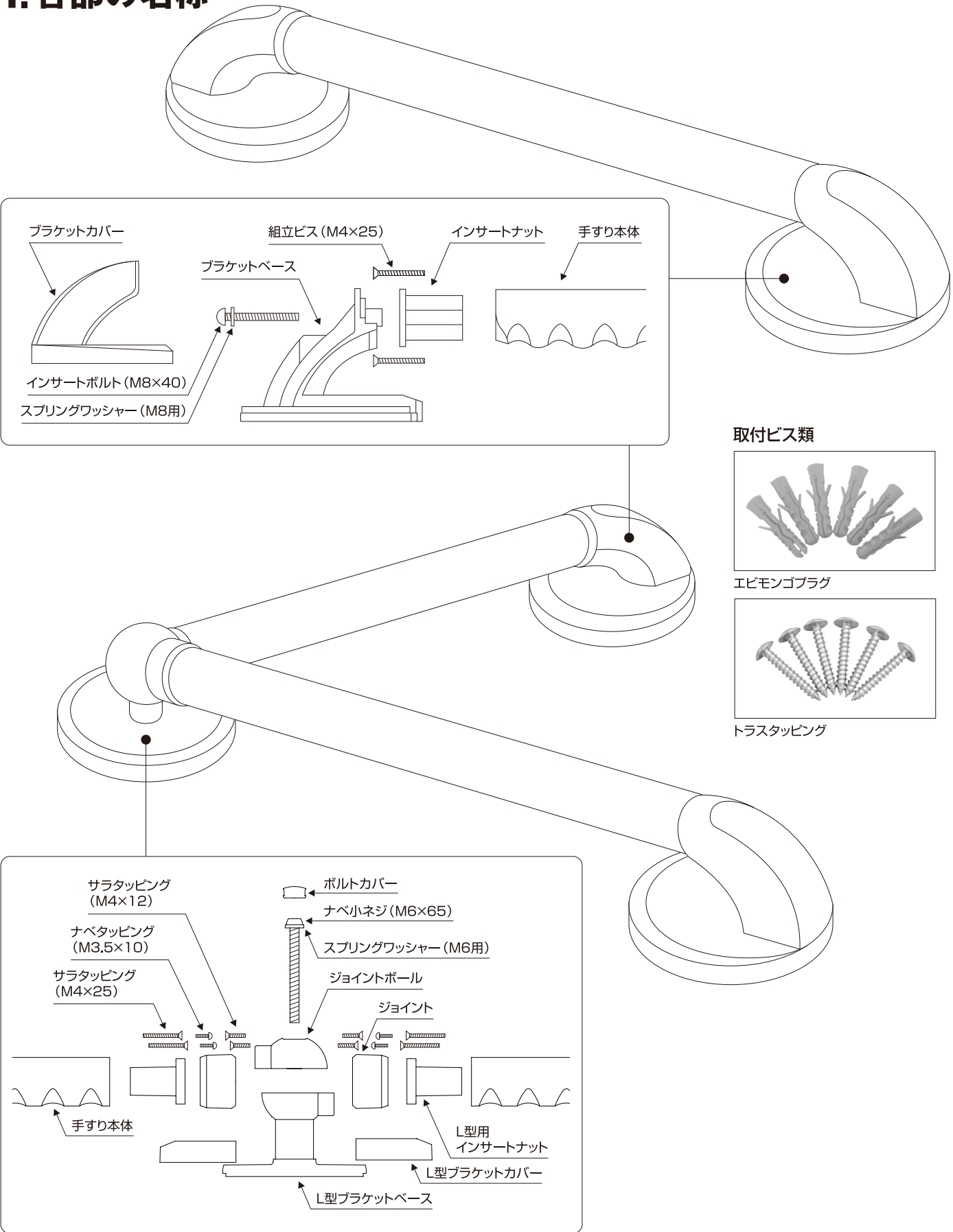
3 パームハンドNextの特長

1. 壁面設置面積を大きくしたブラケット形状とアンカー固定の組み合わせにより強度を保ち、後付けに最適です。
2. 丸みを帯びた形状により、浴室にマッチしたやさしいデザインに仕上げました。
また外観からビスが見えない設計です。
3. 手すり部分に軟質樹脂を採用し、握りやすい素材に仕上げました。
4. 手すり芯材にアルミを採用し、現場カットを容易にしました。長さサイズ調整が可能です。(施工時)
5. グリップは、使用者に合わせて好みの位置で固定できます。(施工時)
6. L型のタテ手すり・ヨコ手すりとも、長さ・角度が調整できるので、
使用者のご要望や設置面の条件にも幅広く対応できます。(施工時)
7. 別売ブラケットセットをお買い求めいただくと、手すり本体をカットした際に余った手すり材を取り付けて、
別の手すりとしてご利用できます。(施工時)

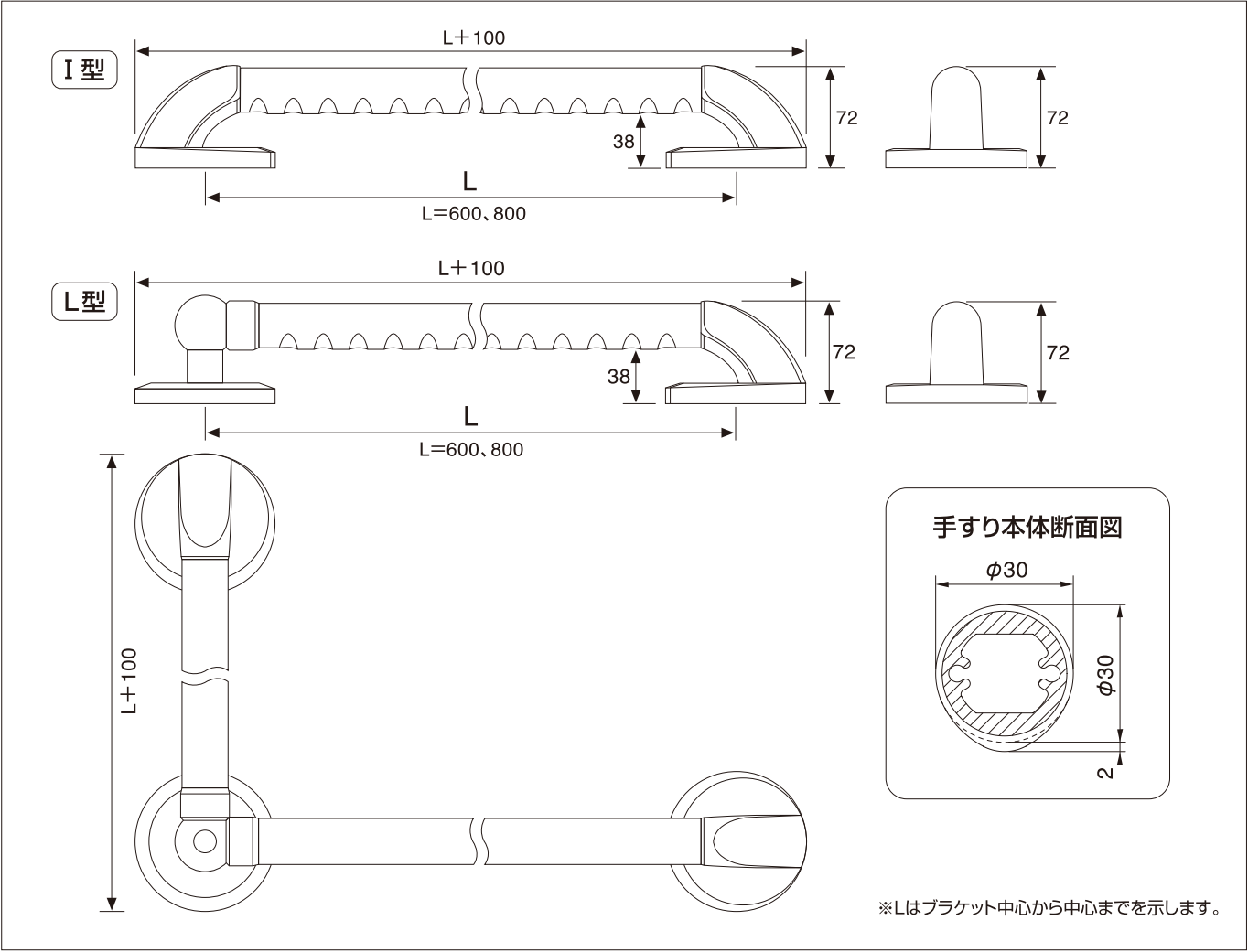
4

製品概要

1. 各部の名称



2. 寸法 (単位:mm)



3. 各部の材質・仕様

手すり本体	芯材:アルミ 被覆樹脂:ソフトアクリル
ブラケットベース	ABS樹脂
ブラケットカバー	ABS樹脂
L型ブラケットベース	ABS樹脂
L型ブラケットカバー	ABS樹脂
インサートナット	POM樹脂
L型用インサートナット	POM樹脂
インサートボルト	ナベ小ネジ: M8×40 (SUS304)
スプリングワッシャー	M8用 (SUS304)
組立ビス	皿タッピング: $\phi 4 \times 25$ (SUS304)
L型組立ビス	皿タッピング: $\phi 4 \times 12$ (SUS304) ナベタッピング: $\phi 3.5 \times 10$ (SUS304)
取付ビス類	トラストッピング: $\phi 6 \times 40$ (SUS304) エビモンゴブラグ: $\phi 8 \times 40$ (樹脂製)

5 施工要領

1. 取付準備

■ 取付可能壁

パームハンドNextを取り付ける前に、取り付ける壁の材質・厚さを確認してください。
壁の材質・仕上げなどがわからない場合は、ユニットバスメーカーにお問い合わせください。

可 能

塩ビ鋼板・塗装鋼板

塩ビ鋼板・塗装鋼板 (0.45mm以上) に石膏ボード (9mm以上) など裏打ちのあるもの。

けい酸カルシウム板

けい酸カルシウム板 (5mm以上) に石膏ボード (9mm以上) など裏打ちのあるもの。

SMC板・FRP板

SMC板、FRP板 (2mm以上) にウレタンなど裏打ちのあるもの。

フレキシブル板

フレキシブル板 (5mm以上) にスチロールなど裏打ちのあるもの。

不 可 能

タイル、ホーロー、天然木、天然大理石、その他強度不足のもの。

■ 必要工具

ポンチ、電動ドライバー、ドリルキリ (φ7.7mm、φ4.0mm)、
ハンマー、コーキング剤、プラスドライバー

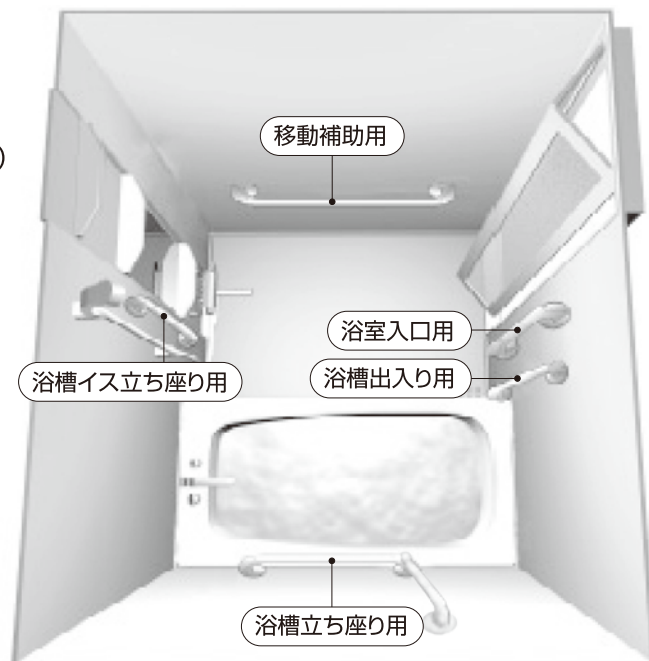
※長さ調整する場合: 高速カッター、ヤスリ、カッターナイフ

※L型のグリップ位置を調整する場合: ドリルキリ (φ3.0mm)

■ 取付位置

手すり取付位置の目安として右の図を参考にしてください。

体形、入浴の仕方など個人差があるため、
最も適した高さに取り付けてください。



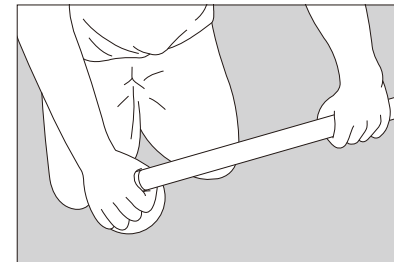
2. 取付方法 (I 型)

※L型の場合は9ページにお進みください。

※グリップ位置調整、長さ調整を行う場合は、先に13～14ページをお読みください。

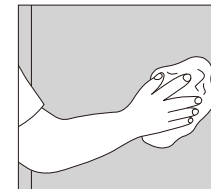
1 製品の確認

手すり本体とブラケットベースが
しっかりと固定されている事を確認してください。



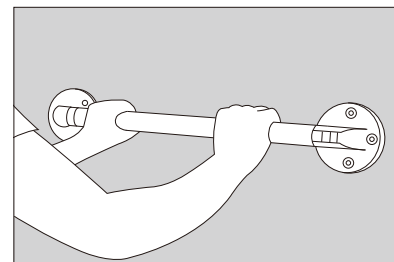
2 製品の仮止め

まず、やわらかい布で壁を清掃して下さい。次に、手すりの
取付位置を決めブラケットベースの裏にある剥離紙を剥がし、
両面テープがしっかり付くようにブラケットベースを均等に
しっかりと押し付けてください。



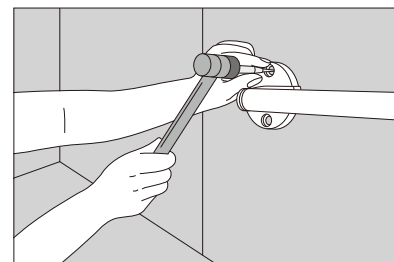
⚠ 注意

- 室温の低いときは、両面テープと壁を
ドライヤーなどで温めてください。室温が低いと十分な接着力
が得られない場合があります。
- 壁面が濡れている場合は、乾いた布でよく拭きとってから仮止
めて行ってください。
- 一度仮止めしたブラケットベースは剥がさないでください。両面
テープの接着力が弱まると十分な防水効果が得られず、水漏れ
の原因となり十分な強度が得られなくなることがあります。



3 ビスの位置決め

ブラケットベースのビス穴中央部にビスを取り付けられるようにポンチで
ビス穴用下穴の位置を決めてください。

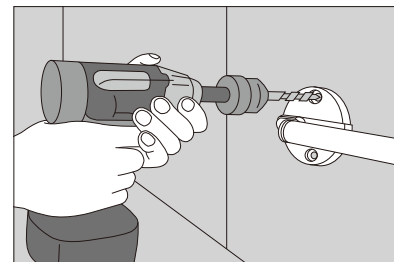


4 下穴の穴あけ

φ4mmのキリで下穴をあけてください。壁裏面に補強があれば6の項目に進ん
でください。補強がなければφ7.7mmのキリで再度下穴をあけてください。

⚠ 注意

- 必ず3点すべてに下穴をあけてください。
- 下穴についたバリなどは、きれいに取り除いてください。



5

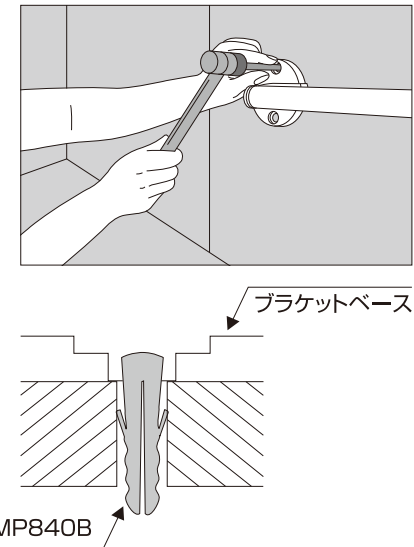
施工要領

5

アンカーの挿入

あけた下穴にエビモンゴプラグMP840Bを垂直に差し込み、トラスタッピングの頭をハンマーで叩き、エビモンゴプラグMP840Bをブラケットベースのビス穴上面まで入れてください。

- 注意
- 必ず3点すべてにエビモンゴプラグMP840Bを差し込んでください。
 - 下穴を大きくあけてしまったときや、エビモンゴプラグMP840Bが空回りしてしまったときは、瞬間接着剤でエビモンゴプラグMP840Bを壁に固定して十分に乾燥させてから次の項目に進んでください。

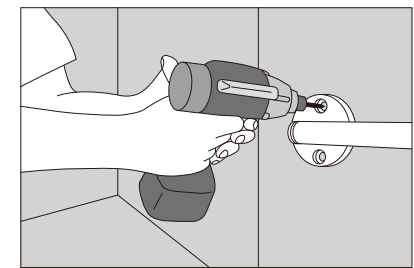


6

ビスの締め付け

プラスドライバーまたは電動ドライバーでゆっくりとトラスタッピングビスを締め付けてください。

- 注意
- 電動ドライバーを用いる場合は、速度・トルクに注意してください。（トルクは6～7に調整してください。）
 - ブラケットベースは3点、L型ブラケットベースは4点を確実に締め付けてください。
 - エビモンゴプラグMP840Bが空回りしたときは上記5の「下穴を大きくあけてしまったとき」の処置をしてください。

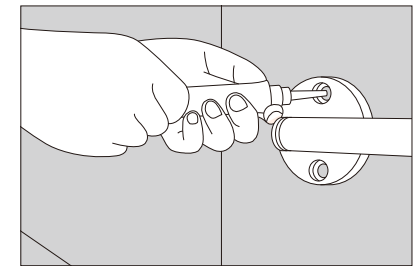


7

コーキング剤の注入

トラスタッピング頭部にコーキング剤を注入してください。

- 注意
- 隙間のできないよう十分に注入してください。



8

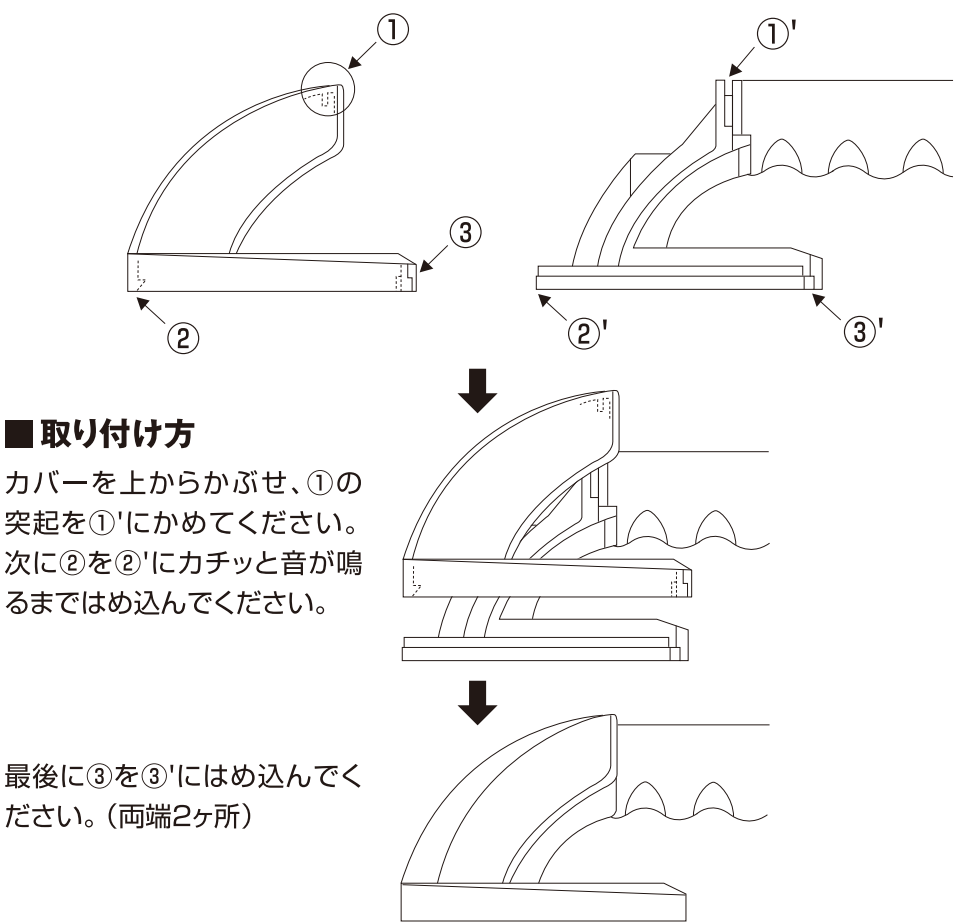
取付確認

チェックリストで取付状態を確認してください。正しい取り付けができていればブラケットカバーをはめ、間違っている場合は各項目へ戻って正しく施工してください。

チェック項目	チェック欄
ビス、プラグは指定数量使用しましたか。	
ビスはしっかりと締められていますか。	
ビス頭にコーキング剤を注入しましたか。	
ブラケットベースと壁面に隙間はありませんか。	
手ずりにガタツキはありませんか。	

9

ブラケットカバーの取り付け



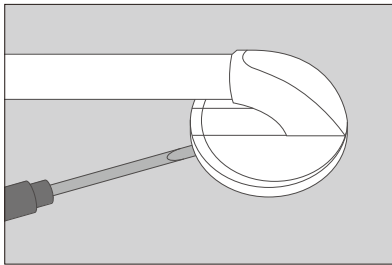
- 取り付け方
- カバーを上からかぶせ、①の突起を①'にかめてください。次に②を②'にカチッと音が鳴るまではめ込んでください。

最後に③を③'にはめ込んでください。（両端2ヶ所）

以上で取付完了です。
最後にブラケットカバーが正しく取り付けられているか、製品がしっかり固定されているか、確認してください。

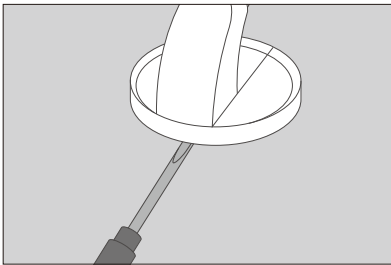
参考

ブラケットカバーの
取り外し方

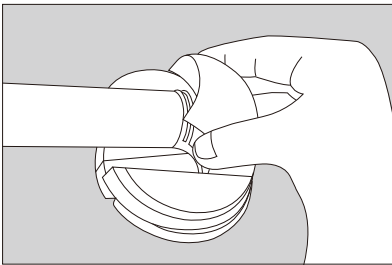


マイナスドライバーを用いて③をはずします。

※マイナスドライバーで壁面をキズつけないようにご注意ください。



同様に②をはずします。



最後にブラケットカバーをゆっくりとはずします。

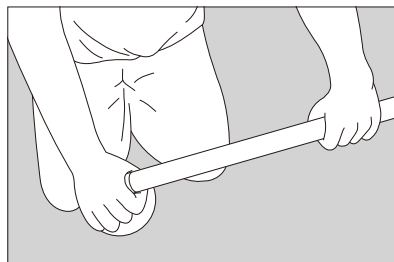
5 施工要領

2. 取付方法(L型)

※グリップ位置調整、長さ調整を行う場合は、先に13～14ページをお読みください。

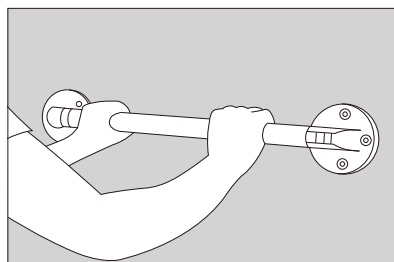
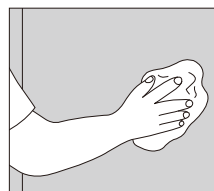
1 製品の確認

手すり本体とブラケットベース、ジョイント、L型ブラケットベースがしっかりと固定されている事を確認してください。



2 横手すりの仮止め

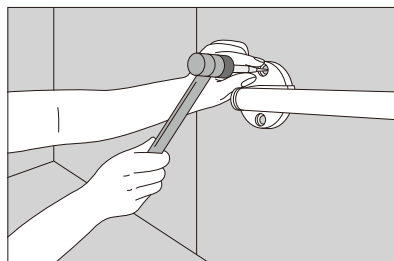
まず、やわらかい布で壁を清掃して下さい。次に、手すりの取付位置を決めブラケットベース、L型ブラケットベースにある剥離紙を剥がし、両面テープがしっかり付くように各ベースを均等にしっかりと押し付けてください。



- ⚠ 注意**
- 室温の低いときは、両面テープと壁をドライヤーなどで温めてください。室温が低いと十分な接着力が得られない場合があります。
 - 一度仮止めしたブラケットベースは剥がさないでください。両面テープの接着力が弱まると十分な防水効果が得られず、水漏れの原因となり、十分な強度が得られにくくなる場合があります。
 - 壁面が濡れている場合は、乾いた布でよく拭きとってから仮止めて行ってください。

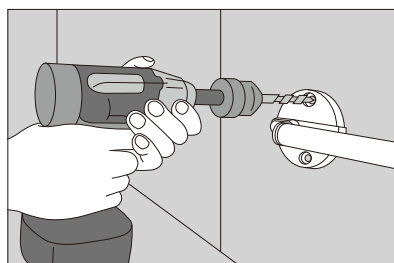
3 ビスの位置決め

ブラケットベースのビス穴中央部にビスを取り付けられるようにポンチでビス穴用下穴の位置を決めてください。



4 下穴の穴あけ

φ4mmのキリで下穴をあけてください。壁裏面に補強があれば6の項目に進んでください。補強がなければφ7.7mmのキリで再度下穴をあけてください。

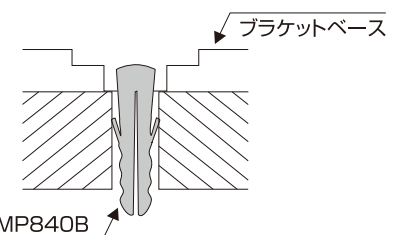
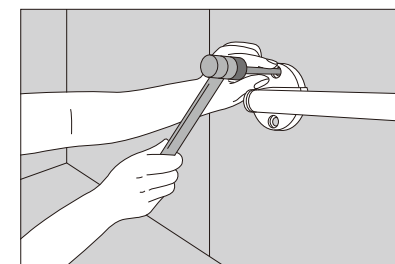


- ⚠ 注意**
- 必ず3点すべてに下穴をあけてください。(ジョイントベース [L型ブラケット] は4点)
 - 下穴についたバリなどは、きれいに取り除いてください。

5 アンカーの挿入

あけた下穴にエビモンゴプラグMP840Bを垂直に差し込み、トラスタッピングの頭をハンマーで叩き、エビモンゴプラグMP840Bをブラケットベースのビス穴上面まで入れてください。

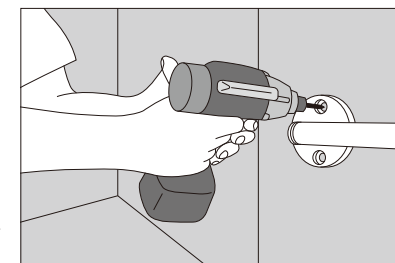
- ⚠ 注意**
- 必ず3点すべてにエビモンゴプラグMP840Bを差し込んでください。(ジョイントベース [L型ブラケット] は4点)
 - 下穴を大きくあけてしまったときや、エビモンゴプラグMP840Bが空回りしてしまったときは、瞬間接着剤でエビモンゴプラグMP840Bを壁に固定して十分に乾燥させてから次の項目に進んでください。



6 ビスの締め付け

プラスドライバーまたは電動ドライバーでゆっくりとトラスタッピングビスを締め付けてください。

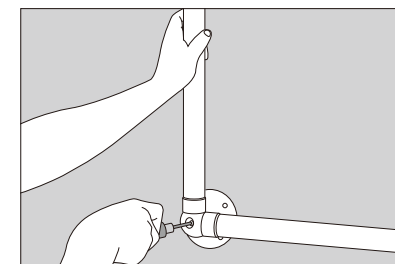
- ⚠ 注意**
- 電動ドライバーを用いる場合は、速度・トルクに注意してください。(トルクは6～7に調整してください。)
 - ブラケットベースは3点、L型ブラケットベースは4点を確実に締め付けてください。
 - エビモンゴプラグMP840Bが空回りしたときは上記5の「下穴を大きくあけてしまったとき」の処置をしてください。



7 縦手すりの仮止め

縦手すりの取付位置を決め、ブラケットベースにある剥離紙を剥がし、両面テープがしっかり付くようにブラケットベースを均等にしっかりと押し付けてください。その後ボルトの本締めを行ってください。

※以後の施工方法については、手順3～6と同様に行ってください。

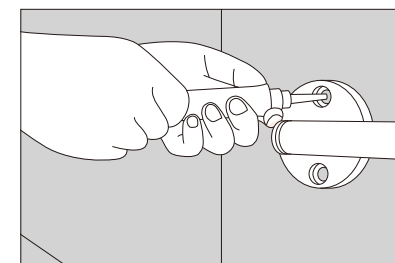


- ⚠ 注意**
- 縦手すりの位置決めは、L型ブラケットベースに縦手すりのジョイント部をピッタリと合わせ、付属ボルトで仮止めてから行ってください。
 - 室温の低いときは、両面テープと壁をドライヤーなどで温めてください。室温が低いと十分な接着力が得られない場合があります。
 - 一度仮止めしたブラケットベースは剥がさないでください。両面テープの接着力が弱まると十分な防水効果が得られず、水漏れの原因となり、十分な強度が得られなくなることがあります。

8 コーキング剤の注入

トラスタッピング頭部にコーキング剤を注入してください。

- ⚠ 注意**
- 隙間のできないよう十分に注入してください。



5

施工要領

9

取付確認

チェックリストで取付状態を確認してください。正しい取り付けができていればブラケットカバーをはめ、間違っている場合は各項目へ戻って正しく施工してください。

チェック項目	チェック欄
ビス、プラグは指定数量使用しましたか。	
ビスはしっかりと締められていますか。	
ビス頭にコーキング剤を注入しましたか。	
ブラケットベースと壁面に隙間はありませんか。	
手ずりにガタツキはありませんか。	

10

ブラケットカバー、L型ブラケットカバー、ボルトキャップの取り付け

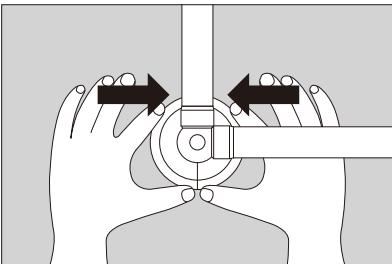
① ①' ② ②' ③ ③'

■ブラケットカバーの
取り付け方

カバーを上からかぶせ、①の突起を①'にかめてください。次に②を②'にカチッと音が鳴るまではめ込んでください。

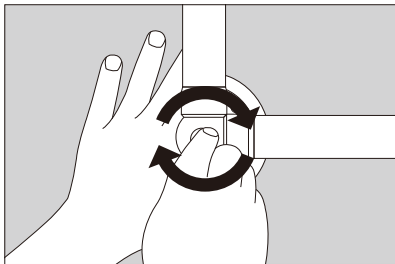
最後に③を③'にはめ込んでください。(両端2ヶ所)

■L型ブラケットカバーの
取り付け方



L型ブラケットベースとカバーの凹凸に合わせてスライドさせるようにはめ込んでください。パチンと鳴れば取付完了です。

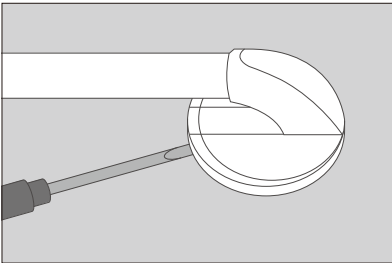
■ボルトキャップの
取り付け方



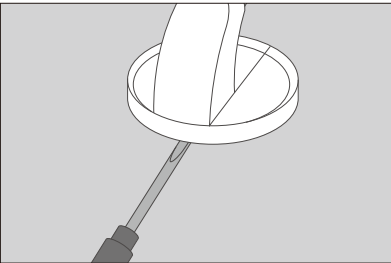
ボルトキャップを真っ直ぐに押し込みます。押し込んだら指先でキャップを回し、パチンと鳴り、キャップが回らなくなれば取付完了です。

以上で取付完了です。
最後に各ブラケットカバー・キャップが正しく取り付けられているか、製品がしっかり固定されているか、確認してください。

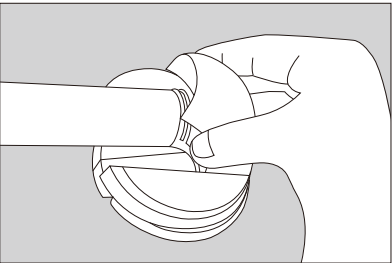
参考
■ブラケットカバーの
取り外し方



マイナスドライバーを用いて③をはずします。



同様にして②をはずします。



最後にブラケットカバーをゆっくりとはずします。

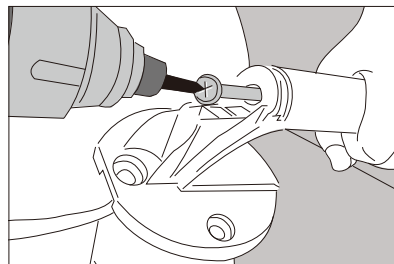
※マイナスドライバーで壁面をキズつけないようにご注意ください。

5 施工要領

4. グリップ位置を調整する場合

※L型で角度調整をされる場合は、付属のL型用インサートナットをご使用ください。

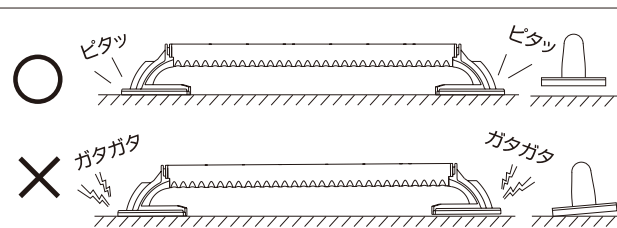
1 **I型** グリップ位置を調整する場合は、インサートボルトをはずし、手すり本体とブラケットベースをはずします。このときインサートナットは、手すり本体からはずさないでください。
(**3**の項目に進んでください。)



2 **L型** 皿タッピングビスを緩め手すり本体からL型用インサートナットをはずし、付属部品のL型用インサートナットを取り付け皿タッピングビスでしっかりと締め付けてください。

注意 ●このときブラケットベース側のインサートナットははずさないでください。
●皿タッピングビスはしっかりと締め付けてください。

3 **I型** 手すり本体を好みの角度に調整してください。手すり本体に固定されているインサートナットとブラケットベースの結合部分は歯車状に加工されており歯車を噛み合わせることにより10°間隔で調整できます。

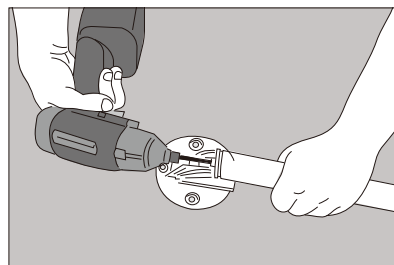


※正確に調整されている場合でも、ブラケットベースと床面に3mm程度の間隙を生ずることがありますが、使用上の問題はありません。

注意 ●調整時は必ず手すり本体とブラケットベースをはずして行ってください。はずさずに調整すると製品を破損します。

4 **I型** インサートボルトをしっかりと締めて、手すり本体とブラケットベースを固定してください。

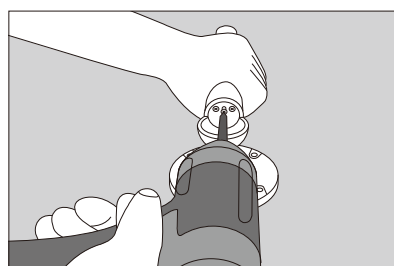
注意 ●電動ドライバーを使用する場合、トルクを6〜7に調整してください。



■I型は6ページ**2**製品の仮止めに戻り、施工手順に従い取り付けを行ってください。

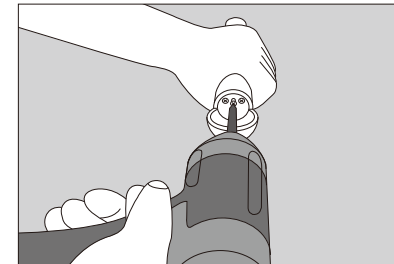
■L型は以下**5****6**の項目に進んでください。

5 **L型** L型ブラケットベースに仮組みし、動かないようにしっかりと押え、φ3.0の下穴をL型ブラケットベースのジョイント部の穴に合わせて3つ開けます。その後M3.5×10なベタタッピングビスで固定してください。



注意 ●ジョイントの穴からビスの頭が見えない所を3つ選んでください。ビス頭の見えるところでは正確に固定できない場合があります。ナベタッピングビスはドライバーでしっかりと締め付けてください。

6 **L型** ジョイント側も同様に一度仮組みし、動かないようにしっかりと押えて**5**と同様に固定してください。

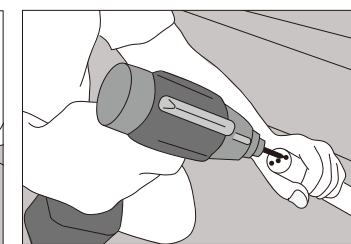
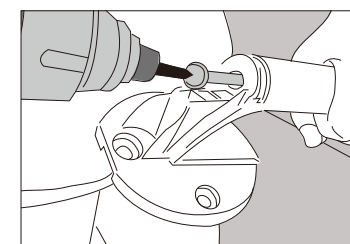


■L型は9ページの**2**横手すりの仮止めに戻り、施工手順に従い取り付けを行ってください。

5. 長さ調整する場合

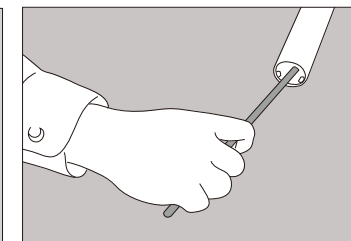
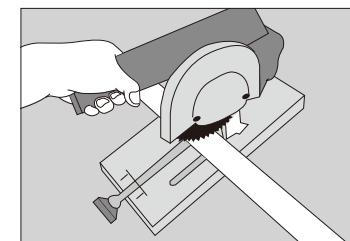
本製品は、手すり本体を切断することにより、長さ調整することができます。調整する場合は、以下の手順に従ってください。

1 インサートボルトをはずし、手すり本体とブラケットベースをはずしてください。さらに、皿タッピングビスをはずし、手すり本体とインサートナットをはずしてください。

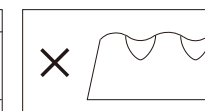
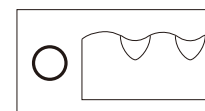


注意 ●L型ブラケットベース、ジョイントははずさないでください。

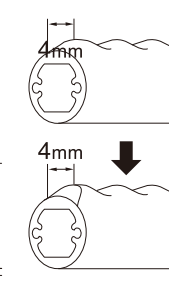
2 高速カッターを用いて、手すり本体を必要な長さに直角に切断してください。切断時に生じたバリは、ヤスリなどを用いてきれいに取り除いてください。



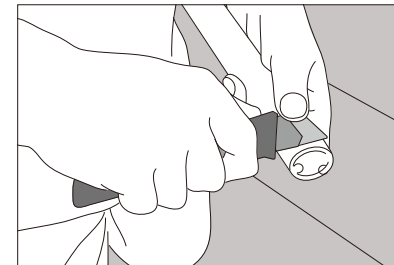
注意 ●発生したバリで、手を切らないように注意してください。また、バリは必ずきれいに取り除いてください。取り残すとブラケットベースがしっかり固定できない恐れがあります。



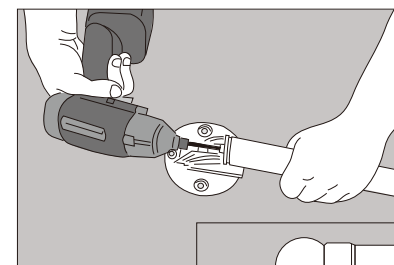
3 切断した手すり本体の端部のグリップ部分をカッターナイフで削ってください。(手すり本体の両端約4mmのグリップ部分を右図のように削ってください。)



注意 ●カッターナイフで手を切らないように注意してください。



4 切断した手すり本体とインサートナットを皿タッピングでしっかりと固定してください。次にインサートナットとブラケットベースをインサートボルトでしっかりと固定してください。



注意 ●このとき、ジョイントをL型ブラケットベースに乗せてがたつきが無いようにしてください。
●ガタツキがある場合は、**4**の作業をやりなおしてください。

■I型は6ページの**2**製品の仮止めに戻り、施工手順に従い取り付けを行ってください。

■L型は9ページの**2**横手すりの仮止めに戻り、施工手順に従い取り付けを行ってください。

